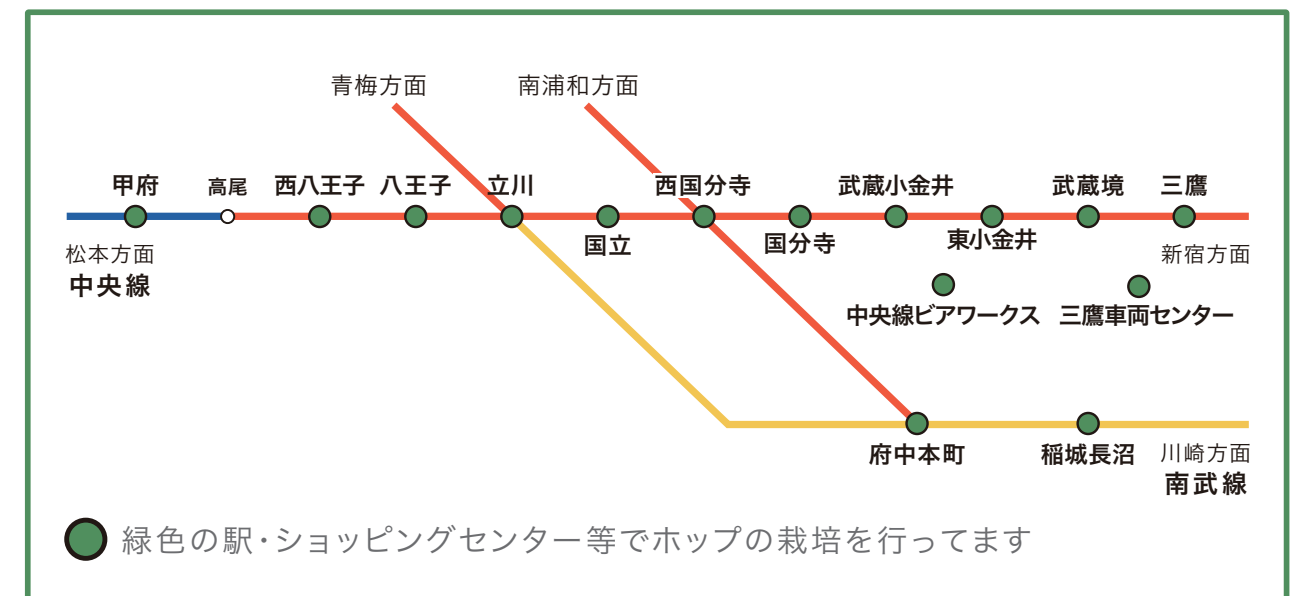


中央線・南武線ホッププロジェクト

ホップ栽培から収穫・乾杯のサイクルを通じた
コミュニティづくりを目指します。

通りすぎるだけの「駅」が 街の新しい価値を作り出すプラットフォーム

2021年3月、主に駅をご利用される地域の皆さまと駅社員のコミュニケーションツールとして、ビールの原料であるホップ栽培を武蔵境駅でスタートしました。ホップ栽培の輪は徐々に広がり、2025年5月現在は中央線・南武線沿線の15か所に広がっています。今では駅社員のみならず、ショッピングセンターで働く社員や地域ボランティアの方々も水やりなどの栽培のメンテナンスに携わり、その中で地域の方々とのコミュニケーションシーンも増えました。「何を育てているの」「成長したね」などの地域の方々との会話を通じて、ホップ栽培は「駅」を単なる交通の要所ではなく、人々の交流を創出する場所にしていきます。また、収穫したホップはオリジナルクラフトビール「ぽっぽやエール」の原料となり、駅前での販売やビールイベントへの出店を通じて地域の方々に提供します。ホップ栽培から収穫・乾杯までのサイクルを通して、ホップを中心とした地域の豊かな暮らしの輪を広げていきます。



(上) 2025年5月時点で、中央線・南武線沿線計15か所で栽培しています。

(左) 武蔵境で育てているホップ。社員や地域の方々が一体となって育てています。